

# 新山古墳群(坂戸市)

前方は「こども園の森」でこの敷地の中に新山古墳群が所在するという



敷地を区画するフェンスに沿って進む



これがフェンスの中を覗いたところ/正面やや右手に僅かな高まりが見える



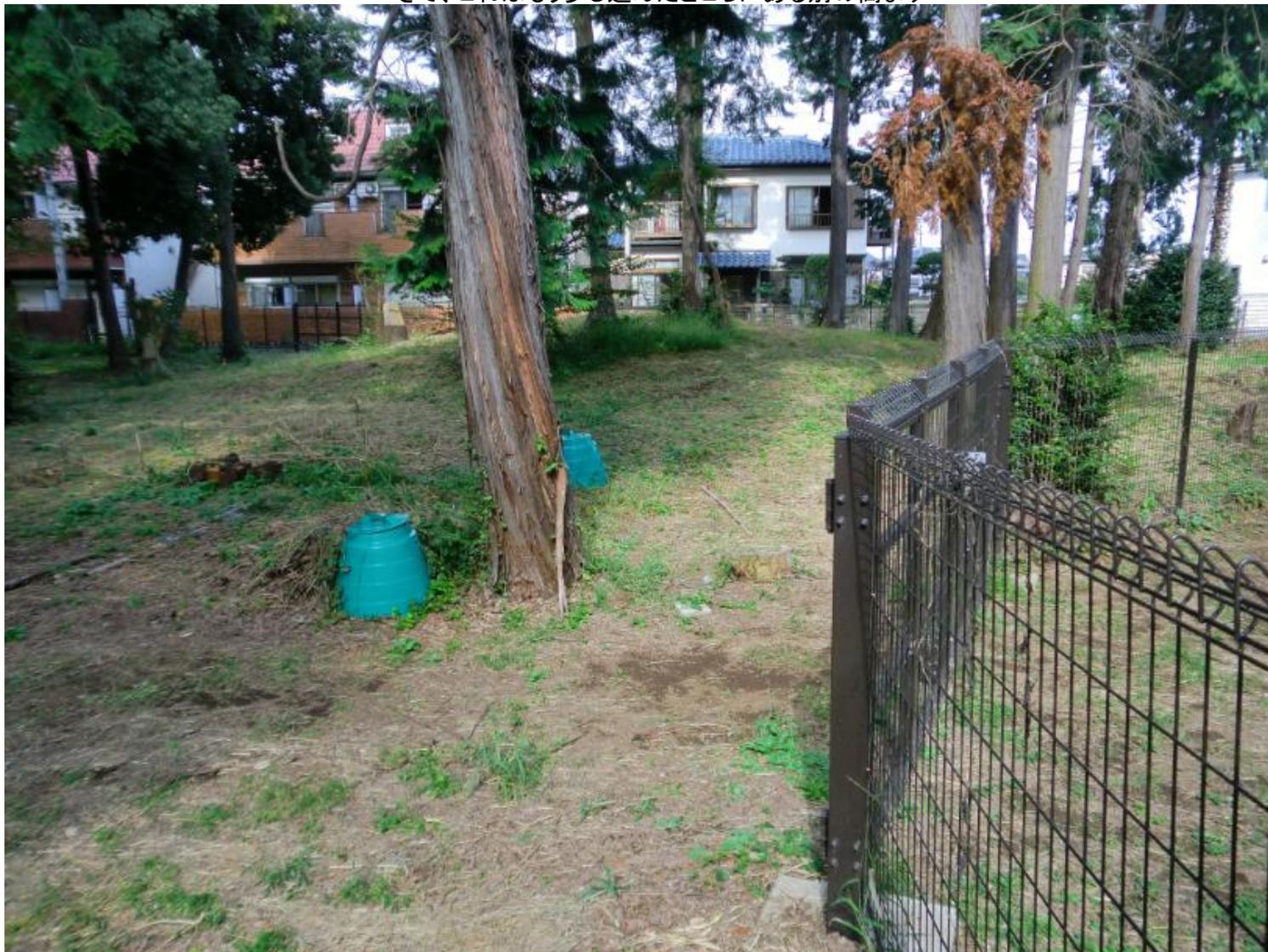
これがその高まり/4号墳のようだ/円墳/南側から見たところ



これは北東側から見たところ



さて、これはもう少し進んだところにある別の高まり



南側からフェンス越しに見たところ/これは3号墳のようだ/円墳



これは東側からフェンス越しに見たところ



これは少し退いて南東側から見たところで、電柱後ろの敷地隅に3号墳がある/敷地内は立ち入り禁止になっている



さて、ここから振り返って南東方向を見ると新しい住宅の脇に高まりが見える



これが近づいて見たところ



これは新山2号墳で住宅開発に合わせてこのような形で保存されたようだ/東側から見たところ



7世紀代築造の方墳という

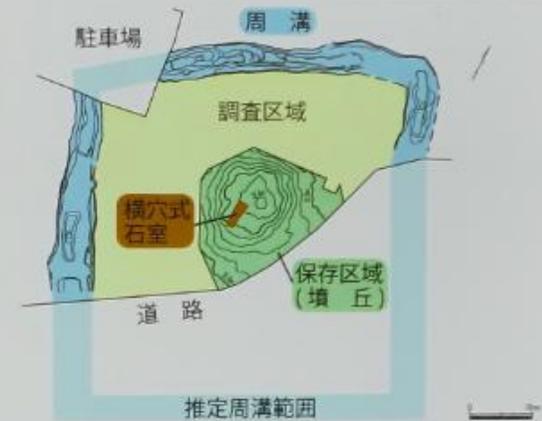


## 新山2号墳って、どんな古墳？

ほうらん  
方墳と呼ばれる、四角い形をした古墳です。  
今から 1400 年前の、古墳時代の終わりのころ  
(7世紀) に造られました。  
はくつちようさ けっか  
発掘調査の結果、一辺約 50mと大型の方墳  
であることが分かりました。50mの方墳は、  
埼玉県内でも数少なく、この地域を治めた有力  
者(豪族)のお墓と考えられます。



空から見た新山2号墳



新山2号墳測量図

坂戸市内には、現在までに 200 基の古墳が  
確認され、その中には 1500 年以上の時を経て、  
墳丘が現存する古墳もあります。清水町の  
周辺には、新山古墳群や片柳古墳群などの  
古墳群が位置しています。新山古墳群は、こ  
れまでの調査によって 12 基の古墳が発見さ  
れていますが、多くが宅地造成工事などにより  
消滅してしまいました。

新山2号墳は、高さ約 1.4mの墳丘が残っ  
ており、その周辺の発掘調査を実施したとこ  
ろ、墳丘の周りを囲む溝(周溝)が発見され、  
一辺約 50mの大型の「方墳」となることが判

明しました。また、墳丘部分に位置する埋葬  
施設を調査したところ、石を積み上げて空間  
をつくる「横穴式石室」が確認され、その特  
徴などから古墳時代終末期(7世紀)に築造  
されたものと考えられます。

埼玉県内でも 50mの大型方墳は数少なく、  
新山2号墳はその規模からこの地域を治めた  
豪族の墓と考えられます。また、新山2号墳  
が築造された後の7世紀末頃、この地域には  
埼玉県を代表する古代寺院の勝呂庵寺が創建  
されました。

平成28年2月 坂戸市教育委員会

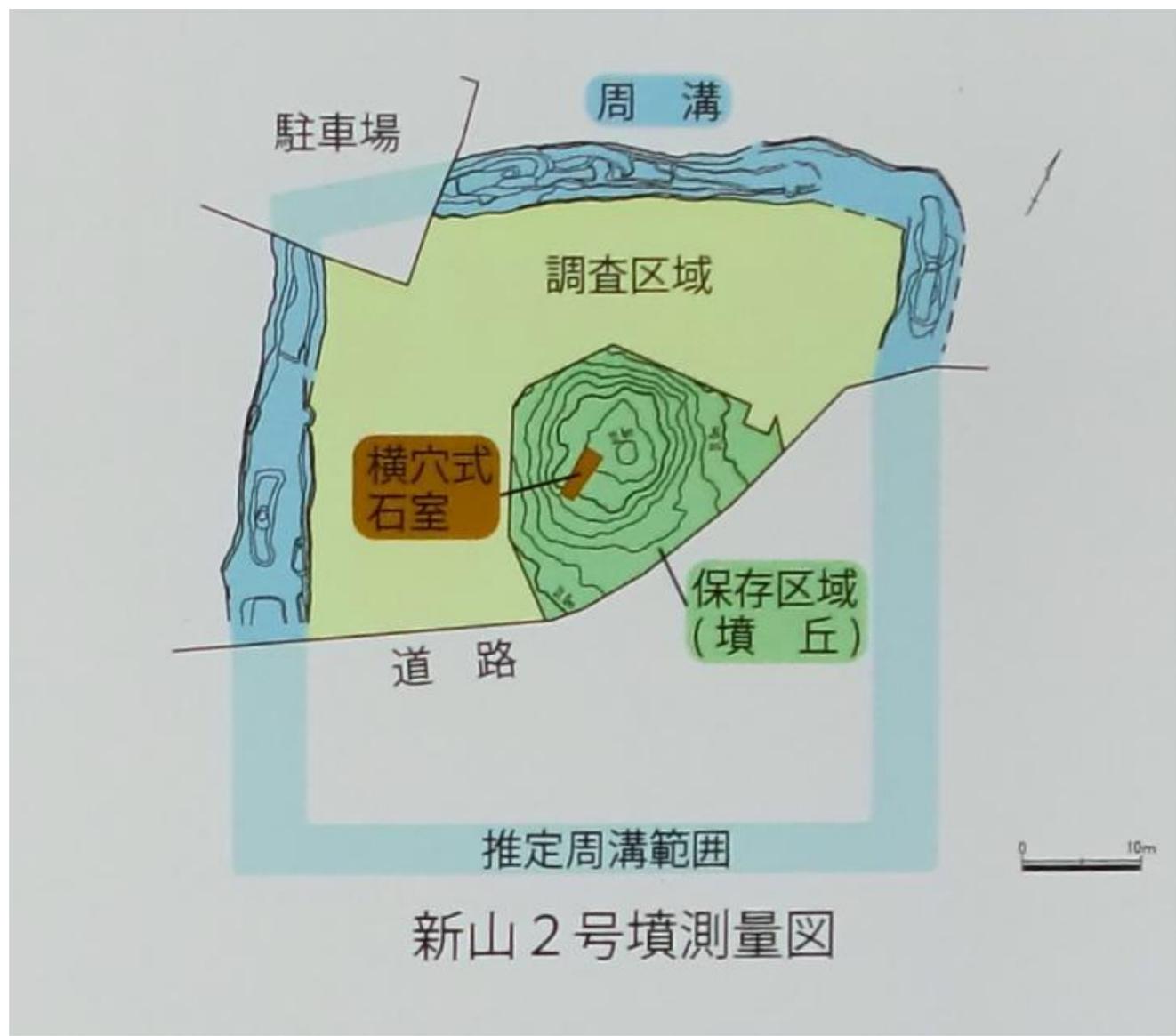


周辺の古墳分布図

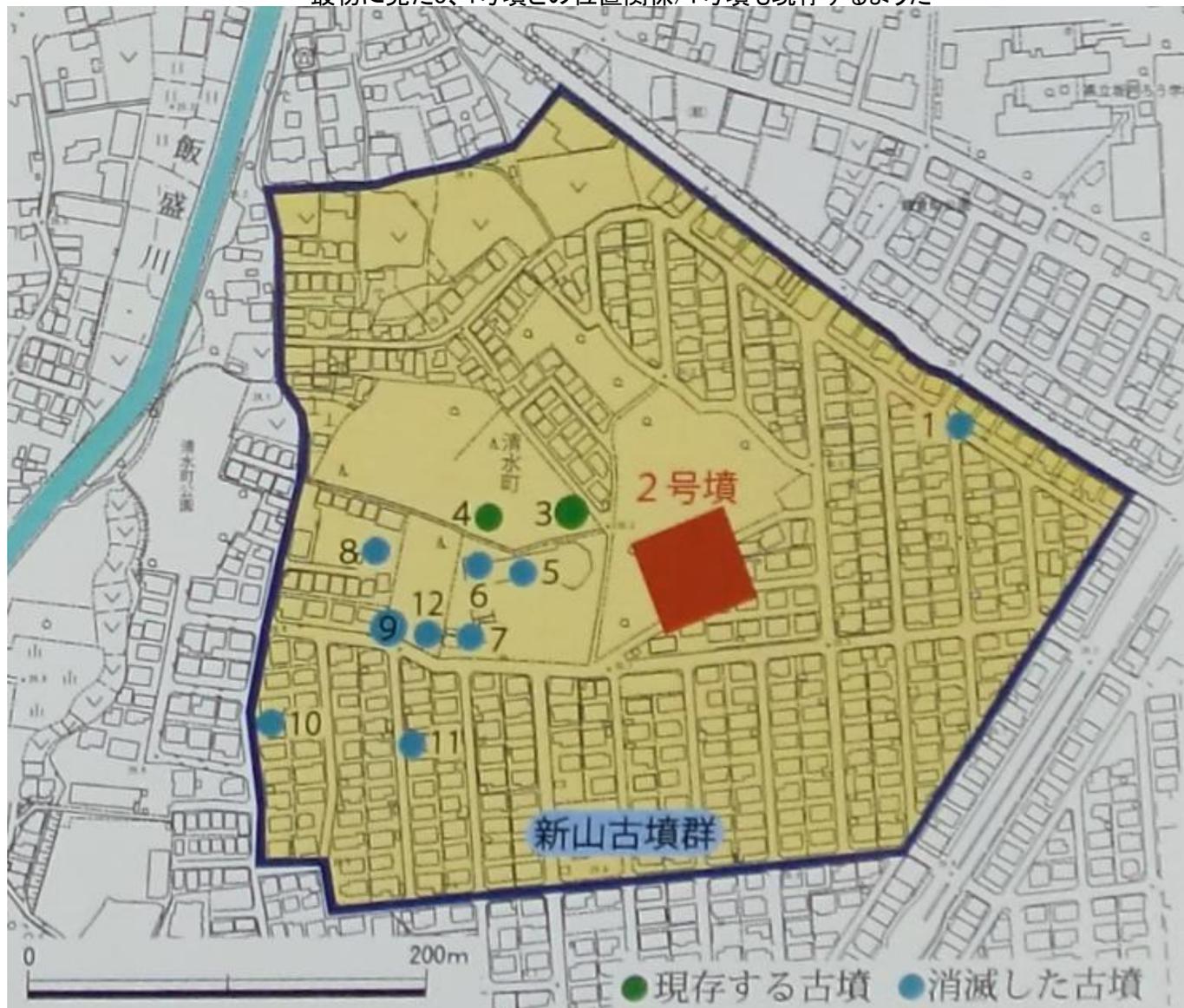
2号墳  
↓



空から見た新山2号墳



最初に見た3、4号墳との位置関係/1号墳も現存するようだ



南東側から見たところ/擁壁に取り囲まれている



南側から見たところ



墳丘を覗いたところ



12

にいやまこふんぐん  
新山古墳群 4区

## 調査区

坂戸市清水町

## 調査期間

平成25年10月8日～12月12日

## 調査原因

宅地造成工事

## 確認された遺構と年代

古墳—1基（古墳時代終末期）

土坑—2基（時期不明）

溝—2条（中世）



12. 新山古墳群4区

新山古墳群は、坂戸市のほぼ中央の台地縁辺に位置し、西側には飯盛川が流れています。

これまでに12基の古墳が確認されていますが、昭和30～40年代にかけての大規模な宅地造成工事によって、その多くが消滅してしまいました。

今回の調査は、高さ約1.4mの墳丘が残る新山2号墳を中心に実施しました。調査

の結果、2号墳の周溝は幅約5m、深さは2m近く掘られている場所もあります。また、周溝の一边が約50mの方墳であることも分かりました。このため、2号墳はこの地域の有力者が葬られた古墳と考えられ、坂戸市周辺の古墳時代を考えるうえで重要な発見となりました。

なお、2号墳の墳丘は破壊せず、現状保存することが決まっています。



調査区全景



墳丘下から出土した緑泥片岩屑



周溝の土層断面



1号溝から出土した板碑

参考ホームページ

[http://sgkohun.world.cocacn.jp/archive/index.php/sakado\\_sinnvama/](http://sgkohun.world.cocacn.jp/archive/index.php/sakado_sinnvama/)

